

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばの教室ことのは別館		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日	～	令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日	～	令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	令和8年 2月 1日	～	令和8年 2月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	8	(回答数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士、作業療法士、理学療法士と多職種の専門的な視点から助言や支援の提案ができること、また丁寧で分かりやすい報告書を通して支援内容を共有できることが当事業所の強みです。	複数のセラピストで情報共有を行い、多職種の視点から助言や支援方法を検討しています。また、訪問時の様子や支援内容が分かりやすく伝わるよう、丁寧な報告書の作成を心掛けています。	複数のセラピストで情報共有を行い、多職種の視点から助言や支援方法を検討しています。また、訪問時の様子や支援内容が分かりやすく伝わるよう、丁寧な報告書の作成を心掛けています。
2	担任の先生からの質問や相談に対して、専門的な視点から分かりやすく具体的な助言を行い、現場で実践しやすい支援方法を提案できることが当事業所の強みです。	現場の状況や子どもの様子を丁寧に把握し、担任の先生が実践しやすい具体的な関わり方や支援方法を分かりやすくお伝えすることを意識して取り組んでいます。	担任の先生の質問や困りごとを丁寧に聞き取り、現場で実践しやすい具体的な方法を分かりやすくお伝えできるよう心掛けています。また、子どもの様子を踏まえた助言ができるよう観察や情報共有を大切にしています。
3	保育所等訪問支援と通所を併用している事から園や学校での過ごし方や事業所での過ごし方を比較して評価を行う事ができます。	園や学校及び事業所にて取り組める支援方法や対策等を工夫して取り組んでいます。	訪問先と事業所での過ごし方を共有して、専門職と相談及び検証する事でより良い支援につなげていきたいと考えています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問による現状把握や助言は行えているものの、課題や困りごとの解消・軽減まで十分につなげられていない場合があることが弱みとして挙げられます。	訪問回数や時間に限りがあるため、助言した内容を継続的にフォローする機会が十分でないことや、現場で実践するための具体的な方法の共有が十分でないことが要因として考えられます。	具体的に実践しやすい支援方法の提案を行うとともに、訪問時の助言内容について振り返りや情報共有を行い、継続して支援に活かせるよう連携を深めていく取り組みが必要と考えています。
2	訪問の目的や観察の視点について、学校・園と十分に共有できていない場合があることや、支援実施後の内容が保護者へどのように伝わっているかの共有が十分でない点が弱みとして挙げられます。	訪問前後における学校・園との目的や観察の視点の共有が十分でない場合があることや、保護者への伝達方法について関係者間での情報共有が不足していることが要因として考えられます。	訪問前後における学校・園との目的や観察の視点の共有が十分でない場合があることや、保護者への伝達方法について関係者間での情報共有が不足していることが要因として考えられます。
3	保護者へ訪問先の様子を写真を交えて共有する事が難しい点です。	訪問先にて不特定多数の児童がおり、個人情報の観点から写真撮影を行う事ができないからと考えられます。	訪問先の担当者とは相談調整を行い、写真撮影の許可が出た際には当該児童以外は特定できない様に処理を施して保護者と共有できるように検討を行っていきます。